



7月30日(火)

## マリアの心とマルタの手

聖書朗読 ルカ 10:38～42

・・・マリアはその良いほうを選んだのです。彼女からそれを取り上げてはいけません。  
ルカ 10:42

どちらの女性も心を尽くして主に仕えました。しかし、違った方法でした。イエス様は、マリアにそばにいて、みこころに従ってエルサレムへ向かうご自身との貴重な時間を有効に使うようお命じになりました。

マリアは見るからに思考派でした。そしてマルタは明らかに行動派でした。マリアは存在「あること」を大切に、マルタは行動「すること」を大切にしました。行動することは良いことではありますが、信仰を深めることはさらに良いことです。「すること」は良いことですが、キリストの弟子で「あること」はもっと良いことです。

つまりこれは、良いものと悪いものとの比較ではありません。良いものと、もっと良いものとの比較です。マルタはイエス様をもてなすため、一生懸命に食事を準備しました。マリアはイエス様のおっしゃる「良いほう」、つまり彼女の心をささげること、イエス様の足元で彼女自身をささげることを選んだのです。

最終的にイエス様のおっしゃりたかったことは、マリアとマルタも含むすべての人間はパンだけで生きるのではないというマタイ4章4節の意味でした。イエス様が強調したかったのは『どうしても必要なことはわずかです。いや、一つだけです。マリアはその良いほうを選んだのです。彼女からそれを取り上げてはいけません。』ということでした。

マリアが選んだ「良いほう」とは、イエス様と共に「あること」、そしてその教えに思いをはせることです。体のためにパンを食べることは大切なことです。そして、イエス様の与えてくださる心のパンを食べることはもっと良いことです。そのほうがイエス様の望んでおられることなのです。

聖歌 475

祈り 主よ。心も体も使ってあなたにお仕えする知恵と力をどうぞ与えてください。それが御心にそったものであるようお助けください。

イエス様のお名前によってお祈りいたします。

マーク・R・ガイ

カリフォルニア州 ヴァレイヨ市

7月31日(水)

## 緑の神学

聖書朗読 ルカ 11:33～36

だれも、あかりをつけてから、それを穴倉や、柀のしたに置く者はいません。燭台の上に置きます。入ってくる人々に、その光が見えるためです。 ルカ 11:33

緑は人類が地球環境に対してもっている責任をあらわす新しいシンボルです。権威ある人々は機会あるごとに、無駄をしないよう、環境破壊を防ぐよう、地球を守れ、と私たちに説教します。

「緑に向かおう運動」は、環境破壊を防ぐのみならず、将来に向けた積極的な整備を唱えています。それは地球を存続させることにつながるからです。危険な薬品を流すこと、自然の循環を変えてしまうこと、毒物など害のあるものを使用すること等に気をつけなければなりません。

ルカによる福音書11章ではイエス様は人生における緑の議論を語りました。『からだのあかりは、あなたの目です。目が健全なら、あなたの全身も明るい、しかし、目が悪いと、からだも暗くなります。』(ルカ11:34)。あなたの明かりを無駄にしてはいけません。世界を悪い言葉で汚し、暗くしてはいけません。人間の墮落した部分をわざわざ表に出してはいけません。

緑の運動とイエス様の教えとから私たちが学べることは、私たちは自力で生きているのではないということです。キリスト教精神とは、私的な物事を扱うことではなく、社会の物事を信仰をもって見ることです。私たちは害あるものをなくす方向に社会が働くよう、クリスチャンとして、有害な倫理観やおかしな哲学に対抗しなければならないのです。

イエス様は私たちに全身が明るいことについて話されました。これは達成するのが少し難しいものですが、神様を称えるものには目指す目標でありたいと思います。これが責任あるクリスチャンの標準です。

「あなたの明かりを輝かせなさい」。

讚美歌 326

祈り 親愛なる神様。世界にある有害なものがはっきり見えるように、そしてあなたの僕として輝く人生を生きることができるようにお助けください。

イエス様の名によって祈ります。アーメン。

ハロルド・シャンク

ウェストバージニア州 ヴィエナ

8月1日(木)

## シンプルな贈り物

聖書朗読 ルカ 12:16~21

人は、たとえ全世界を手に入れても、自分自身を失い、損じたら、何の得がありません。  
ルカ 9:25

単純明快な真実がここに 있습니다。

「持ち物が少なければ少ないほど、悩みの種は少ない」。

若いころ、私は年代物のクラシックカーを買いました。自分が楽しむ趣味の一つにと。しかし、そこに費やされた時間と経費(清掃・ワックスがけ・免許登録・整備不良で起こる故障パーツの交換、生産停止になっているものを手に入れる)は、際限のない重荷と出費になってしまいました。これらの心配事との戦いは「皆があこがれる美しい車を私は持っている」という自己満足を優に超える大変さでした。その車を売ってしまった後、生活はシンプルになり、より良いものを買うために生活費も賢く——主のワイン畑を皆と共有したり——使えるようになりました。私は有名なシェーカー教徒の歌を歌うことができます。

シンプルになるための贈り物、自由になるための贈り物  
私たちがあべき姿になるために贈られた贈り物  
私たちがあべき場所にまさにいることを発見したら  
そこは愛と喜びが満ちるすばらしい谷間でしょう。  
——ジョン・ブラケット

シンプルで自由とはどういうことでしょうか？ シンプルさ、単純さとは、神様の目指す方向のみに人生すべての出来事を向けてゆくことです。自由さとは、この世の示す欲求や心配事と関係を持たないことです。

讚美歌 第二編 184

祈り 聖なる父よ。あなたからのたくさんの贈り物に、そしてキリストを通してくださった自由=罪と後悔の縄目からの解放に感謝をささげます。私たちの心をあなたの知恵の喜び、愛すべき平和で満たしてください。

イエス様の名によって祈ります。アーメン。

ハロルド・L・シモンズ  
テネシー州 ナッシュビル

8月2日(金)

## 心の一身によって自分を変える、とは

聖書朗読 ルカ 13:18~21

神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。ローマ 12:2

卒業式といえば、何を想像しますか？ 長時間座らされること？ 長い講話？ 退屈？

非営利の活動をする NPO 法人に、貧困から抜け出せない人々に奉仕する団体があります。私は何度もその卒業式に参加しました。13 週間にわたって受けたキャリア研修や、グループカウンセリング、はたまた霊的訓練クラスやインターンシップなど、特別プログラムを見事こなした生徒たちは卒業していきます。

最初の学期、学生はみな、新しい世界が自分にとってどんなものか、を表現するコラージュ(図や絵、文字を切って一枚の絵のようにしたもの)を作ります。ほとんどの学生のコラージュに、豪邸や高級車、美しく輝くダイヤモンドや洋服が貼られます。平和や教養、満足、信仰、神様への感謝といった心の内面を表現するものはめったにありません。しかし彼らは卒業するころになると、見るものが変わってくるのです。

卒業式では、学生すべてがスピーチをすることになっています。学ぶ過程で感じたものを卒業生が表現すると、希望や成長した信仰を垣間見ることができます。クラスメートやボランティア、インストラクターの励ましで、がんばることができたのです。そして成功や到達の究極的背後には神様がおられ、ゆえに神様こそがほめたたえられるべきなのです。もちろん、最初のころに作ったコラージュに出てきた物質主義への憧れはなくなっています。希望は神様にあり、神様のもとにいるかぎり安全だとわかったのです。

卒業式に出ると気がつかされることがあったり、励まされたりすることがあります。卒業生の変心、変身を目の当たりにすると私自身の信仰も新たにされます。神様は私たちに心の一身によって変わらなさいと語っておられます。

讚美歌 第二編 188

祈り ご在天の父よ。私たち一人ひとりを漏らさずあがなってください感謝いたします。あなたを大切にする人生を歩むことができますようにお助けください。イエス様のようにならせてください。心の一身により、私たちを変え続けてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

サリー・J・シャンク  
ウェストバージニア州 ヴィエナ

8月3日(土)

## 見つけました！

聖書朗読 ルカ 15:1~10

あなたがたに言いますが、それと同じように、ひとりの罪人が悔い改めるなら、神の御使いたちに喜びがわき起こるのです。」 ルカ 15:10

最近、私は公立図書館の本を借り、地区の施設に住む患者さんに貸し出しました。それを回収に立ち寄ったら他の人に手渡ってしまったようで、本は消えてしまったのです！ 図書館にも戻っていないか確認してもらいましたがありませんでした。地区の施設をくまなく探しましたが、やはり見つかりません。それは大判の素敵の本でしたから弁償すると35ドルもかかると言われました。せっかく良いことをしたのに、悲惨な結果です。

そして私は3週間、施設に通い、なくなってしまった本を探し続けました。影も形もないのです。そして、最後にみた廉価本の山の中ほどに、まさに私が必死に探していたその立派な本を見つけたのです！ 本を引き抜くと、それを持って一目散に図書館へ走って行きました。満面の笑みで。その本がどういう経緯でそこに埋もれていたのかは知る由もありません。

私の経験した事件は実際に起こった出来事でしたが、罪人が再び見つかるということよりは重要ではありません。救い主は離れてしまった私たちを探してくださっています。命を捨てて下さったのは失われた私たちを取り戻すためだったのです。神様はあきらめませんでした。私たちが再び「はい、神様に戻ります」と立ち返るとき、どんなに喜んでくださることでしょう。私たちは神様に見出されたいですし、また、私たち自身も父なる神様のように遠ざかっている人たちに対して根気強く寛容でありたいものです。

讃美歌 356

祈り 聖なるお父様。どうか私たちが道を見失わないように、あなたのそばにいるように助けてください。神様から離れている人たちのため祈ること、愛することをやめないように力を与えてください。

イエス様の名前によって祈ります。アーメン。

ラヴァーン・ショウ

ニューメキシコ州 ホップス

8月4日(日)

## 地上で信仰を見つける

聖書朗読 ルカ 18:1~8

あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。 I ペテロ 5:7

ある車に面白いステッカーがはってありました。「イエスが帰ってきます。みんな慌てています」。おそらく冗談で作られたものかもしれませんが、私たちに「イエス様はこの地上に信仰を見つけるだろうか？」という問いを投げかけています。

裏社会には不正があふれ、選挙では根深い問題が解決されない。現代の私たちが神様を信じ続けることはとても困難です。そんな時、あなたは誰から助けをもらいますか？ あまりその気がないようで、でも、あなたがしつこくすれば助けてくれるかもしれない人？ それとも、あなたを心の底から心配して、あなた自身が気がついていない事柄すら何とかしようとしてくれる人？ 信じ続けましょう。祈り続けましょう。

不当な仕打ちにあなたが苦しんだときに、お勧めしたいことは、あなたをうんざりさせている人たち(政府・上司・先生または両親)の態度を変えようと努力することよりも、祈ることです。神様があなたの声を聞いていないと感じてしまうときにも、実際にあなたを心配してくださっている神様に、全幅の信頼を置くほうがはるかに良いのです。イエス様が戻られた時、忙しい人と見られるよりも、沢山の恵みに感謝の祈りをささげている人でありたいものです。

讃美歌 458

祈り 親愛なる神様。日々の生活で出会ってしまう不正から私たちを解放してください。あなたは私たちにとってだけ義なる神ではなく、世界中の悲惨な目にあっている人々にも義なる神であってください。イエス様の再臨を待ち望みます。急いでお出でください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ポール・トマス

カリフォルニア州 ユカイバ